

学童保育の更なる充実を



田村 計久

質問

急速に入所者が増える学童保育は今後の子育て支援として働く若い夫婦の期待とともにその重要性が改めて問われている。13年に始めた現在の学童保育も一応の成果を挙げたものと理解するが、現状にいくつかの問題もあり今後のあり方も含め伺う。

町長答弁

現在の施設での限界もあり湯沢小学校の利用を検討したい。現時点では楽町会館の利用を考えている。

質問

現在の施設では今年度においても20人に対応するには子供たちの健全育成の面からも多くの問題が生じている。19年度はさらに多くの申し込みが想定されているが、20人の定員で打ち切ることのないようにし、働く若夫婦の支援と子供たちの育成に取り組むべきと考えるが、如何か。

町長答弁

19年度募集を今しているので申し込み人数をみて考えなければならぬ。人数が多ければ湯沢小学校の利用を検討すると

ともに、湯沢1箇所ではないのかどうかも今後検討しなければならない。

まちづくりのために地域整備に支援を

質問

これまでのアンケートや各団体の先進地視察などの報告にあるように、観光の町としての取り組みが遅れていることが指摘されている。豊かな自然を含めその資源の活用整備がされず現在の状況になっていることに強い危機感をもっている。

今進められている温泉通りの活性化の取り組みや谷地、楽町間の道路整備について地域が一生懸命取り組んでいる、この事業を推進する中で町並み景観や地域のポイント整備をしていかなければまちづくりは実現できないと考える。

行政の取り組みと地域の意欲がひとつになって地域整備が進むものと考え、現在の条例による地域整備の支援は実効性

にとほしく、効果が上がらないと思う、町長が言う特色のある観光の町湯沢を作るためにも、はつきりまちづくりの姿勢を示すべきで条例を改正し取り組むべきと考えるが。

町長答弁

観光で成り立つ湯沢町においては大きな課題と

認識している。私自身懸命に取り組んでいるところではあります、議員が言われるようなことであれば見直しをしなければならぬ。地域の特色を生かし、あるものを最大限活用することが大事で地域とともにまちづくりを進めたい。



学童保育の充実が今後の課題である (学童保育クラブ・楽町会館)

一

般

質

問